



代表取締役社長

山下 文隆

### 地球の環境、社会と暮らしに調和した 事業活動に取り組みます

私たちは、人類をはじめ、多くの動物や植物を育む豊かな地球の環境資源を思いのままに利用してきました。このことが環境への負荷を増やし地球温暖化などの影響を及ぼすことになりました。私たちはこのことを謙虚に、そして大きな問題意識を持って受けとめなければならぬと思います。

もはや地球環境の保全是緊急の課題となっており、それに全力を挙げて取り組むことは、すぐれた業績をあげることと同じように、企業としての重要な責務であると考えます。

このような認識のもとに、大日本塗料は人と環境に優しい企業理念をいっそう強固に推進していく決意として、「グリーン宣言」(10頁ご参照)を掲げました。そして、健康で快適な暮らしを実現するために、これまでに培ってきた塗料技術を基本に、多彩で豊富な環境対応ノウハウを全面展開し、事業活動へと直結させることをめざします。

### 環境を守る先進塗料の開発を 加速させます

当社は一貫して塗料製造を基軸とした事業活動を展開し、社会と暮らしのさまざまな場面で彩りと潤いを創出し、総合塗料メーカーとしての地歩を築いてまいりました。中でも、重防食塗料分野では豊富な実績を誇り、日常的な機能維持や外観保全を通じて社会インフラや日々の産業活動を支えています。

一方で、冷房コストの削減や省エネルギー効果に結びつける遮熱塗料、VOC(揮発性有機化合物)を含まず、環境適性がきわめて高い水系塗料、環境にやさしい粉体塗料など、次世代をみつめた先進塗料製品の開発にも積極的に取り組んでいます。

### 環境・安全・健康に配慮した企業活動に 取り組みます

1995年には環境・安全マネジメントシステムであるレスポンシブル・ケアの活動を開始しました。

化学物質は産業活動や日常生活を営む上で欠かすことのできないものですが、取扱いを間違えた場合、それはしばしば人体や自然環境に悪影響を及ぼすことがあります。時によっては回復しがたいような深刻なダメージを与えることも少なくありません。それだけに化学製品を扱うメーカーは、責任ある行動をとることが強く求められます。レスポンシブル・ケアとは、そうした行動を促すための指針であるともいえます。

私たちは塗料という化学製品が社会の発展と快適な暮らしに貢献することを願い、さまざまな製品をお届けしています。しかしながら、化学製品であるがゆえのリスクの発生にも常に留意し、それに備える社内体制を確立しなければなりません。自己責任と自主管理を基本とするレスポンシブル・ケアの精神に則り、今後とも法令の遵守だけにとどまることなく、環境や安全、健康への配慮が行き届いた企業活動に取り組んでまいります。

### 「環境の世紀」にふさわしい 事業活動を推進します

地球の温暖化防止のために全社をあげて取り組むことも、環境への適性を何よりも重視した製品を開発することも、さらには環境の保全・人の安全・健康の確保を重視するレスポンシブル・ケア活動を推進することも、すべては企業としての社会的責任(CSR)とは何か、それをどう認識するかという問題へとつながっていきます。

21世紀は「環境の世紀」とも呼ばれています。環境保全に取り組むことは、そのまま私たち大日本塗料グループにとっての社会的責任を遂行することであり、そのゆるぎない意思の表明であると考えます。

このような私たちの思いを皆さまにお伝えするとともに、持続可能な社会づくりのためにどんな活動を展開しているかを知っていただくために、あらたに「社会・環境報告書」としてまとめました。環境と安全と健康のために日常的に取り組んでいる活動全般について、皆さまのご理解をいただく一助となれば幸いです。